

日本アイスホッケー連盟設立決議文

アイスホッケー競技は札幌オリンピックを契機とし、世界の趨勢に則り、日本スケート界の複雑な現状の体制を夫々国際競技連盟別に分離専門化し、財団法人設立の確固たる方針によりその普及發達に挺身するの要を痛感する

アイスホッケーの魅力は確かに広く国民の間に認識を深めつつある。吾々はこのムードの盛りあがる歴史上の希少な一瞬を逃してはならぬ。しかし世界の一流国に比し、また国際社会に伍して底辺を拡大し、トップレベルの向上を図り、国民体育振興の一翼を負うにはまだ多くの問題が山積してゐる

従つてアイスホッケー界はそのすべてのエネルギーを結集し、期待されるこの機会を捉えて飛躍的發展を遂げる礎をここに確立しなければならぬ。スピード、フィギュア部門の再建の消長もまた由々敷大事であり、専門毎に渾身の努力が必要と考ふる

また基本的初歩スケイティング普及の道も緊要であるが、競技を分離専門化しても統一事業活動として相応じて従事する政策の確認を遂げるべしと考ふる

依つて吾々は日本スケート連盟の伝統ある四十有余年の歴史を継承し、競技の盛衰をかけ、新たに日本アイスホッケー連盟を分離組織して、財団法人設立の早期実現に向ふことを決議する

昭和四十七年八月十五日

日本アイスホッケー委員会
全国アイスホッケー代表者会議